

わやまん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所> あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 0569-72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 0569-35-2861

クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525(代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>



新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職 —自分ドラマつくろう— (104) 岡田 清治



■プロフィール

著者: 岡田 清治 (おかだ・せいじ)

1942年生まれ ジャーナリスト(編集プロダクション・NET108代表)

著書に『高野山開創千二百年 いっぽんさん行状記』『心の遺言』

『あなたは社員の全能力を引き出せますか!』『リヨンで見た虹』など多数

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を下記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。

FAX: 0569-34-7971 メール:takamitsu@akai-shinbunten.net



【写真】こういう石垣がいまも残っている(著者撮影)

姪の就職2

真三は感想述べながら相手に注ぎ返した。高いみかんの花咲く丘の上には「草枕温泉てんすい」と銘打った「道の駅」風のログハウスの建物がある。みかんをイメージした大衆浴場があり、また隣接の売店では地元の特産品野菜ぐんだもの等を売っている。大衆浴場より広い露天風呂から臨むみかん畑、光る有明海そしてその向こうに見える島原半島の雲仙・普賢岳の俯瞰風景はまさに絶景である。阿蘇の外輪山と並ぶ熊本二大景勝地であると真三は秘かに楽しんでいる。

真三は大学四年の夏、昭和四十一年(一九六六)就職が内定したので、一人旅に出た。当時、真三は京都の私学Dで学んでいた。日本が高度経済成長期に入る少し前のころだが、この年は山口證券の日銀特融が持ち上がるなど、大変な不況で就職戦線もきびしかった。いくつか会社の試験を受け面接まで行くが、決まらない。そこでエンジニアの道をあきらめ、地方の企業に変えることを決めた。内定先の企業の本社が九州にあったので、一人旅はその下見の意味もあった。

この先の人生を考えると、なにか釈然としなかったが、よくよしても仕方がない。このころ卒論と並行して学内公募論文で「創立者と自然科学」のテーマに取り組んでいた。大学の創立者は米国・ボストンで学んだA.カレッジで理学士を授与されていた。入学以来、創立者はなぜ宗教学や文学、歴史学でなく、理学士なんだという疑問をもっていた。これは真三が理系の学生だったからだと本人は思っている。

論文の仕上げに、創立者の生誕の地、群馬県・安中、国禁を犯して密航した北海道函館、開校の協力者となつた京都府顧問Yの出身地である福島県・会津、そして熊本洋学校の廃校で京都に移った熊本バンドの「奉教之碑」のある熊本市・花岡山の四力所を訪れるなどを考えて、海老名弾正・熊本バンドの学生の移籍は、その基礎を固めるうえで大きな役割を果たした。それだけに、熊本バンドのことが一番気になっていた。

ある日、漠然とした気持ちで九州に向けて夜行列車に乗り込んだ。当時、九州へは修学旅行で行っただけであった。記憶に残っていたのは、別府の地狱温泉、長崎の平和公園、そして阿蘇山だけであった。宿泊した熊本県の枕立温泉の名称だけは覚えていた。

筑豊の炭鉱者(やまもの)、石炭を運ぶ運搬船が浮かぶ遠賀川の川筋男といつた言い方をする。炭鉱者も川筋男も柄悪く、品性も良くなく荒くれ男であった。

河内男といったイメージだ。大阪でも船場は上品だが、河内は品性が良くないと見られている。しかし、大阪の土性骨は河内の風土によってつくられており、真三が大阪へ出張した折、会った有力取引先の福岡出身の経営者は「わしは川筋もんだった」と、自分を紹介したがそこには力強い男氣を感じてもらいたいという思いが込められていたように思つた。西郷隆盛をはじめとする九州人全体のイメージに炭鉱者(やまもの)や川筋男の強さを見つめる思いがする。

石炭といえば、り子の出身地の荒尾に隣接する大牟田が三池炭鉱の本拠地として有名だ。昭和三五年(一九六〇)ごろからエネルギー政策の転換で、石炭企業が石炭から石油へ進出、エネルギー構造が大きく変わった。昭和三四年(一九五九)十一月、三池炭鉱は一千一百名の指名解雇を通告、三池争議に発展した。その四年後死者四百五十八名、一酸化中毒患者八百三十九名という「三池三川炭鉱炭塵爆発事故」が起きた。日本の石炭エネルギーの終焉を象徴する炭鉱の大爆発事故は大争議に発展した不幸な出来事だった。

真三は直方から博多に出て、鹿児島本線に乗り換え、特急列車の窓からなにげなく大牟田の駅名を見て、次の駅で降りて今日の宿としようとうまうく見知らぬ駅に降りる入り口を感じた。玉名駅だった。真三がり子と結婚する十年ほど前のことである夏の温泉旅館はシイズンオフで泊り客はほとんどない。しかし、サラリーマン人生が終わりのところになって、あのとき玉名駅で降りたことに妙な因縁というか、奇縁を感じにはいられない。

「あれが炭鉱で働いていた人たちの社宅だったところよ」結婚後帰省の折には大牟田駅前のレンタカー営業所でクルマを借りた。り子が車中で外を見ながら教えた。木造平屋の長屋風の社宅を眺めながら往時の炭鉱者の生活ぶりが浮かんだ。いまの三井グリーンランドやシティモールができるまでは炭鉱者の社宅の一群が魔境となつて広がつていて。それは死んだ街の風景であった。三池大争議に続き、大爆発の余韻が残る昭和四十年(一九六五)、り子の親類の教諭ぱり子の高校卒業と入れ替わるようになり荒尾のA校に赴任してきた。「数年前に爆発事故は書き留めている。

「弟組が第一と第二に分裂したので、家族や学校の生徒まで、いがみあつていたのを覚えていた。」

り子は真三の話を聞きながら思ひ出していた。

家から市街地のA高校へ進学してはじめて、炭鉱者の家の生徒と一緒にになった。それまではまったく知らないかった。A高校に在学中に三池炭鉱で大きな事件や事故はなかつたが、三池争議の余波は学内にも及んでいた。彼女が高校生の頃、学内でも炭鉱者の生徒は一大勢力を誇っていた。

の意味合いが込められていた。いうなれば、筑豊の河内男といったイメージだ。大阪でも船場は上品た石炭貨車のレールがところどころに頸をのぞかせていました。全盛期には三池鉄道が社宅から三池港まで伸びていた。そのころ石炭輸送だけではなく、一般にも開放、地元民も運んだ。大牟田から荒尾にかけて四ツ山の商店街は石炭産業の隆盛とともに発展したが、いまでは建物も戦前のままのものも多く、気の毒なくらいすつかり寂びている。往時をしのぶ大牟田市石炭産業科学館が有明海岸沿いに建てられている。いまでは建物も戦前のままのものでもない数少ない場所であろう。隣接して第三セクターのネイブルンドは無残な撤退をしていた。地元の民放が第三セクターのすさまんな運営ぶりの代表例として報じていた。

「水族館のクラブだけだね、見られるものは?」

見学していたのは真三夫婦と九十三歳の義母の三人だけで、料金は大人一人千八百円はいかにも割高感があった。地方でのミニテーマパークの運営の厳しさを見せつけている。

都市型のテーマパークをつくるなら、少なくとも三井グリーンランドを超えるか、同等のものでないと人は三井グリーンランドに流れる。癒し系の温泉スパottが熊本や周辺県に無数にあるだけに、それをも上回る規模と魅力のテーマパークで採算をとるのはかなり難しいことだろうと思われる。むしろ三井グリーンランドのそばに、ウルトラマンに絞ったレジャー施設は成功している。大牟田、荒尾一帯は三井財閥の影響が濃く残っている。明治二十二年(一八八八)に、三井家が官営の三池炭鉱を手に入れたことから、今日の三井の城下町となったことにつながっている。熊本県の荒尾と福岡県の大牟田は県境で接しているが、どちらも県の中心街から外れている。両市は石炭の街として発展するが、開墾した当時は豪のきいた宿泊施設もほとんどなかつた。

優雅な社交界を必要せしエキゾチックな三井港俱楽部の建物が現在、三井港の近くに残つている。明治四十二年(一九〇九)の建物だ。三井関係の人たちをはじめ、外国高級船員の宿泊や接待、また皇族や政界人の迎賓館として利用された。現在はレストラン、結婚式場として一般公開して使われている。

「山海を開発して世界に通す」

明治四十年(一九〇八)、三池港の開港式に臨席した当時、大蔵大臣の井上馨の揮毫の扁額が館内の壁にかかっている。明治維新後、薩摩出身の政治家たる三井炭鉱を訪れた伊藤博文による揮毫(浦瀬山輝) (石炭が生産され港の船舶の出入りが盛んも三井港俱楽部に残っている)。

「ここは囚人の墓があつたところです」

大牟田市内にあるり子の実家の墓参りに行つた折に、義兄が説明してくれた。

私の出会った作品(42) 杉本武之

杉本武之

(四二)日本映画(その3)
◎山中貞雄『丹下左膳余話・百万両の壺』

『丹下左膳余話・百万両の壺』は片眼腕の怪剣士・丹下左膳が主人公です。しかし、この映画の丹下左膳は大活躍しません。いざとなれば強いのでしょうかが、とても近寄りがたい剣豪には見えません。いつも、雇われている矢場の女主人にやり込まれています。

これほど愉快な映画は滅多にありません。黒澤明の時代劇、例えば「用心棒」や「椿三十郎」などの手に汗握る痛快さとは異なり、ついクスクス笑い出してしまう可笑しさに満ち溢れた楽しい映画です。

とにかく愉快です。心地よいのです。ほんわかとした気分になります。真夏の猛暑でもなく、真冬の極寒でもない、春風臨蕩の世界です。あらゆるもの、絶対的な厳しさでなく、相対的な緩やかさで

把握され、とげとげしさとは無縁な、のんびりとした風景が展開します。凡庸な監督では到底生み出すことができない素敵な時代劇です。

この比類のない傑作を作り出したのは、昭和13年(1938)9月17日、29歳の若さで日中戦争の戦場で病死した山中貞雄です。日中戦争、続く太平洋戦争で多くの若者が無残に殺されました。無数の無名人に混じって、映画監督の山中貞雄やプロ野球の不滅の名投手・沢村栄治といった有名人も死にました。残念無念で仕方がありません。

山中貞雄のことを知らない人が多いと思います。簡単に紹介します。

1909年、京都市に生まれる。1927年に京都市立第一商業学校を卒業すると、同じ学校の上級生だったマキノ雅弘に頼んでマキノ映画に入社した。翌年、



『丹下左膳余話・百万両の壺』

時代劇スターの嵐寛寿郎が独立プロダクションを興すと、脚本家・助監督として参加します。脚本家として認められた。1932年に処女作『磯の源太・抱寝の長脇差』を発表した。映画評論家の

時を記した。彼の作ったものは全て時代劇で、娯楽性に富んだ商業映画であったが、単なる娯楽映画の枠を越え、見事な映画的技巧によって芸術的に高い水準に達しています。1937年、遺作『人情紙風船』を発表した。

『人情紙風船』の原作が大きく変化した。原作が大きく変えられ、映画は次のような物語になりました。原作者側に「丹下左膳余話」が入りました。文句が出たので、原作とは別物だという意味で、題名に「丹下左膳余話」が入りました。

一柳生源三郎(沢村国太郎)は、江戸の大きな道場に婿養子に入った時に、藩主の兄から餌別に汚い壺を贈られた。妻の秋乃花井蘭子(瀬戸内美里)は、壺を肩屋に売り飛ばした。しかし、それは百万両の隠し場所の地図が塗り込まれた壺だった。壺の秘密を知った源三郎は、「壺を探しに行く」と言つて、矢場に直行して、そこで働く若くて可愛らしい女と楽しく遊んでいる。矢場の女主人は三味線の名手・お藤(喜代三)。その用心棒が丹下左膳(大河内伝次郎)である。安吉という孤児も同居している。父が矢場で遊ん

で帰る途中に悪者に殺されたので、お藤が引き取ったのである。安吉は肩屋から貰った汚い壺の中で金魚を飼っていた。糸余曲折を経て、百万両の壺は源三郎の手に戻るが、彼は壺を妻に渡すともう遊びに出られなくなるのを恐れて、その壺を矢場に置いて貰うことになります。

山中さんは、助監督の頃、本当におとなしくて、何

かボーッとしていたようだけど、語っています。

黒澤明は、山中についてこう語っています。

「山中さんは、助監督の頃、本当におとなしくて、何

かボーッとしていたようだけど、

語っています。

黒澤明は、山中についてこう語っています。

「山中さんは、助監督の頃、本当におとなしくて、何

かボーッとしていたようだけど、

わが家のニューフェイス



村井佑衣(3才) 武豊町

写	さ	つ	と	で	い	か	登	間
真	ん	か	」	も	フ	り	り	キ
・	持	山	て	頂	ぱ	だ	を	ヤ
文	つ	に	も	上	い	し	し	ン
	て	登	美	で	で	た	た	フ
	い	る	味	食	、	道	よ	に
	き	時	し	べ	す	も	。	行
	た	は	か	た	ご	葉	。	き
村	い	、	っ	千	く	公	。	を
井	な	お	か	ヨ	疲	園	。	動
	。	菓	た	コ	れ	と	た	衣
加	。	子	よ	レ	ち	達	時	て
寿	。	を	。	ー	石	。	3	ん
子	—	た	ま	ト	や	。	歳	。
		く	た	か	ち	。	初	す
			た		。	。	め	こ
			く		。	。	て	。
					た	。	大	走
					こ	。	が	。
					3	。	た	。
					が	。	り	村
					ば	。	。	井
					。	。	。	佑



愛と*My Family*



さう
鯉江咲來(1才1ヶ月) 常滑市

写	と	フ	フ	フ	フ	フ	出	よ
真	い	は	犬	の	ク	て	か	く
・	ろ	い	の	。	テ	革	け	歩
文	ん	て	散	外	।	履	す	け
	な	樂	歩	は	フ	い	る	る
	所	し	見	石	か	て	よ	よ
	に	い	た	ニ	氣	出	レ	う
	お	な	リ	ろ	に	發	と	み
鯉	出	。	新	フ	な	!	聞	に
江	か	ニ	木	フ	?	で	く	。
	け	れ	い	フ	て	も	と	一
	し	か	發	あ	座	革	か	歳
千	し	か	見	リ	フ	の	は	に
津	じ	ら	見	さ	ち	フ	。	。
美	い	も	が	ん	。	マ	ん	。
	な	?	レ	。	。	シ	持	た



長期休暇はドロボーが活発に活動します！

まもなく年末年始に入りますが、長期休暇中は侵入盗被害が増加します！
この機会に、以下のポイントを参考に防犯対策に努め、被害の未然防止に努めましょう！

KEEP OUT **KEEP OUT** **KEEP OUT** **KEEP OUT** **KEEP OUT**

ドロボーにやわない! ための対策!

ドロボーにあわないための対策！

- 出かける前に必ず施錠確認、補助錠を活用しましょう
 - 家には、高額な現金や貴金属を置かないようにしましょう
 - ガラスを割って侵入されるのを防ぐため、雨戸やシャッターを活用しましょう
 - 家を開けるときは、室内の電気やテレビをつけたままにし、在家を装いましょう



横断歩道は ■ 愛知県・愛知県警察



初回を目標にした上位はまだ100-120番にしてください。その他、現在に関する情報は最終回の整理欄にご確認ください。

あの家もこの家も、私たちが配るのを待っている人たちがいます。慣れていないうちは、朝はやくてまだ眠い目をこすりながらの配達は大変かもしれません。ですが、配り終えたときの誰かの役に立ったという達成感は人一倍感じられます。誰かのため、地域のためにピッタリな仕事です。まずは一度、体験をしてみてはいかがでしょうか。



あかい新聞店で 私たちと一緒に 働きませんか？

※詳細は担当 赤井までお気軽にお問合せください
**中日新聞
あかい新聞店** 武豊 0569(72)0356
常滑 0569(35)2861